

目撃情報を活用した竜巻注意情報の提供を開始

気象庁は、平成25年9月の竜巻災害を踏まえて開催された「竜巻等突風対策局長級会議」の検討報告を受け、竜巻発生が目撃情報が得られた場合に、目撃情報のあった地域の周辺で更なる竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっていることを伝える竜巻注意情報の提供を開始しました。（開始時期：平成26年9月2日（火）13時）

竜巻の発生が確認できた事例のうち約3割で、最初の竜巻から6時間以内に同一府県又は近隣府県で別の竜巻が発生しており、竜巻の目撃情報を即時的に活用することで、従来よりも高い確度で竜巻注意情報を発表することが期待されます。このため、竜巻の目撃情報が得られた場合は、竜巻注意情報に、目撃情報のあった地域を「〇〇〇地方」のように示すとともに、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっていることを記述することで次に起きる竜巻への注意喚起を図ります。（福岡県は北九州地方、福岡地方、筑豊地方、筑後地方の4区域）

【目撃情報の活用の有無による竜巻注意情報の情報文の違い】

目撃情報を活用しない場合の情報文 （現行の竜巻注意情報と同じ）	目撃情報を活用する場合の情報文
福岡県竜巻注意情報 第〇号 平成26年〇月〇日〇〇時〇〇分 福岡管区气象台発表 福岡県は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。この情報は、〇日〇〇時〇〇分まで有効です。	福岡県竜巻注意情報 第〇号 平成26年〇月〇日〇〇時〇〇分 福岡管区气象台発表 <u>【目撃情報あり】〇〇〇地方で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。</u> 福岡県は、竜巻などの激しい突風が発生する <u>おそれが非常に高まっています</u> 。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。この情報は、〇日〇〇時〇〇分まで有効です。